

ENG&自立型テレプロンプターキット

TP-700



取扱説明書

datavideo
JAPAN

www.datavideo.jp

目次

内容物	3
概要	5
特長	5
組み立て（ENG の構成）	6
組み立て（自立型構成）	9
組み立て（オプション タレントモニター）	11
IP を介した PC との接続.....	12
ルーター/ DHCP LAN 経由の接続.....	13
70/30 ガラスのクリーニング.....	13
オプション（別売り）：テレプロンプターリモートコントロール	14
1. ハンドヘルドコントローラー(WR-500).....	14
2. フットスイッチコントローラー(FS-30)	16
Dv Prompter Plus アプリ.....	17
1. ドキュメント画面.....	17
2. スクリプトの作成と編集.....	17
3. スライド	18
4. リアルタイム編集.....	20
5. プレイリスト.....	21
6. コントロール.....	21
7. メニューバー	23
8. ネットワーク.....	25
9. 複数のデバイスの同期.....	26
10. 外部ディスプレイの接続.....	28
11. アプリのアップデート	29
仕様.....	31
サポート窓口.....	31

内容物



製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、販売店までご連絡下さい。
※ 組立方法については(P6～)で下記表を参照してください。

アイテム番号	商品	数量
A	TP-700 ENG プロンプターレール	1
B	小型レール (F 取付用スペーサーブロック付き)	1
C	固定ネジ (A or AA を B に固定 /1/4 インチネジ 27mm)	2
D1	六角レンチ (シルバー/逆ネジ 六角穴付きボルト)	1
D2	六角レンチ (シルバー/ガラスフレーム用)	1
D3	六角レンチ (シルバー/ VESA 用)	1
E	16mm 1/4 ネジ (ワッシャ付き/ F を B に取付用) 赤シール	2
F	15 インチ液晶コントロールユニット	1
G	ガラスフレーム (ベルクロストラップ 4 個付)	1
H	ウィングナット1/4インチネジ 19mm (A or AA を G に固定)	2
I	布製スヌード (ベルクロストラップ付)	1
J	70/30 ガラスシート (緑と赤シール付)	1
K	スヌードのフードサポートワイヤー	1
L	カメラ固定用ネジ (1/4 インチ/16mm)	2
M	カメラ固定用ネジ (1/4 インチ/31mm)	2
N	カメラライザーブロック (15mm 厚)	1
O	USB マウス	1
P	3/8 インチ→1/4 インチ変換アダプターねじ	1
Q	カウンターサンク六角ネジ (長さ 16mm)	1
R	カウンターサンク六角ネジ (長さ 31mm)	1
S	垂直マウントレール (タレントモニター用)	1
T	VESA アダプタープレート (タレントモニター用)	1
U	14mm M4 ネジ (75MM VESA モニター取付用)	4
V	AC/DC 変換アダプタ(DC12V/2.0A)	1
W	イーサネットケーブル 5M	1
X	WR-500 リモコン用 3.5mm 入力アダプタ	1
Y	12V D-タップケーブル	1
Z	12mm M4 ネジ (J 固定用)	2
AA	小型レール (取り付けることによって G を B に自立可能)	1
BB	16MM M4 ネジ (S と B 取付用)	2
CC	8mm M4 ネジ (T 取付用)	4
CCC	12mm M4 ネジ (100MM VESA モニター取付用)	4
	取扱説明書 (本書)	1

概要

TP-700 は、特大台形ガラスを採用したスタジオ用テレプロンプターです。高品質の 15 インチ液晶画面を搭載し、dvPrompter Plus アプリを内蔵しています。ノートパソコンでソフトウェアを実行する必要はありません。

Datavideo プロンプターキット TP-700 は、テレプロンプターリグに直接カメラを取り付ける ENG スタイルのカメラでも、自立型のカメラでもどちらでも使用可能です。

用意した台本やキューシートを dv Prompter Plus アプリにコピー & ペーストし、設定した自動速度でスクロールさせたり、オプションの有線/無線リモートでユーザーがコントロールして、より自然な仕上がりにすることができます。また、様々な距離から快適に読めるよう、クリアなフォント、色、文字サイズを多数用意しました。

特長

- ENG および自立型構成
- dvPrompter Plus ソフトウェア内蔵
- 主電源または V-Lock バッテリーによる電源供給が可能
- HDMI 入力と HDMI 出力により、複数の TP-700 を連結して使用可能
- HDMI 入力は、内蔵タブレットを HDMI モニターとして使用することも可能（必要に応じて 3rd party 製ソフトウェアを使用）
- イーサネット経由でフルコントロール可能
- 前面、VESA 75 および 100 マウントで最大 19 インチのタレントモニターをサポート
- オプションで有線リモコンとフットペダルが利用可能
- 一般的なワイヤレスプレゼンテーションリモコンでも制御可能



組み立て (ENG の構成)



トします

①お手持ちの三脚に付属するクイックリリースプレートをプロンプターレール (アイテム A) のネジ穴に合わせ、クイックリリースプレートのネジで固定します。

長い溝がカメラ位置の後方になり、レール上にあるの 4 つの穴がカメラレンズ側になるようにセット

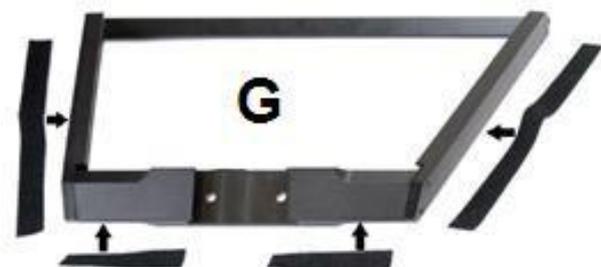


②次に、プロンプターレールの付いた三脚プレート (アイテム A) を、三脚にスライドさせて、固定します。



③ ENG プロンプターフレーム B の下部を固定ネジ C で固定し、フレーム A 本体の逆穴を利用して固定します。

注：プロンプターレール (アイテム A) にガラスフレームを取り付けるため、取付穴を 2 つ残しておいてください。



④布製スヌード (アイテム I) の中には、粘着性のあるベルクロストラップが 4 つ入っています。

ガラスフレーム (アイテム G) の左右エッジに付属の長いマジックテープ (計 2 枚) を、下側のエッジに付属の短いマジックテープ (計 2 枚) を貼り付けます。

注) マジックテープはまっすぐ貼り付けてください。またネジの上に貼り付けないように気をつけてください。



⑤マジックテープを貼り付けたガラスフレーム (アイテム G) をプロンプターレール (アイテム A) の上面にスライドさせ、レール先端から 1 列目の取付穴に合わせます。

ガラスフレーム (アイテム G) がカメラ位置から反対方向に傾いていることを確認し、2 本のガラスフレーム用ねじ (アイテム H) を使って固定します。



⑥ ガラスフレーム (アイテム G) の左右にある溝に 70/30 ミラーガラスシート (アイテム J) をスライドさせて取り付けます。

※ガラスを破損しないようにお取扱には十分注意してください

※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出します。

⑦ オプションとして、各フレームスロットの上部にある小さな M4 ネジ (アイテム Z) を使用して、フレーム内にガラスシートを固定します。六角レンチ (アイテム D2) を使ってネジを締めることができます。

⑧ 15 インチ液晶コントロールユニット (アイテム F) を ENG プロンプターフレーム (アイテム B) の下部に、1/4 ネジ赤いシール (アイテム E) を使って取り付けます。



⑨ TP-700 MKII ENG カメラライザーブロックを使用するかどうかを決めます。

理想は、カメラのレンズが 70/30 ミラーガラスの距離が 1~2cm になるようにフレームをスライドさせ、位置を調節します。

その際、カメラのレンズと 60/40 ガラス (アイテム J) を傷つけないように注意してください。

また、カメラとその ENG カメラプレートによっては、カメラのレンズがすでに十分な高さになっている場合もあります。



※三脚アダプタ取付写真例
(ライザーブロックなし)

⑩ お手持ちの ENG 三脚アダプタープレートとライザーブロック (アイテム N/必要な場合) をプロンプターレール (アイテム A) に、カメラ固定用ネジ (アイテム L またはアイテム M) を 2 本使って固定します。カメラ固定用ネジ・長 (アイテム M) はライザーブロックを使用するときを使用します。カメラ固定用ネジ・短 (アイテム L) は、ライザーブロックを使用しない場合に使用します。六角ネジ (アイテム Q と R) は、お手持ちの三脚アダプタープレートとライザーブロックを三脚ヘッド上に配置する必要がある場合に使用します。



⑪ お手持ちの三脚アダプタに ENG カメラを取り付けます。また、レンズと 70/30 ミラーガラス (アイテム J) の中心から距離が 1~2cm 程離れるようにフレームをスライドさせ、位置を調節します。

その際、カメラのレンズと 70/30 ミラーガラス (アイテム J) を傷つけないように注意してください

レンズフード及びサンフードは取り外しておいてください。



⑫ スヌードのフードサポートワイヤー（アイテム K）を取り付けます。これは、布製のスヌードがカメラのレンズの前に潜り込むのを防ぐためのものです。このフードサポートワイヤーのための穴が、ガラスフレームに 2 か所あります。

⑬ マジックテープを使い、スヌードをガラスフレームに固定します。



⑭ ドローコードを引いて、布製スヌード（アイテム I）をカメラレンズを覆い、光を遮断します。

⑮ dvPrompter Plus ソフトウェアが自動的にロードされます。ソフトウェアの詳細な使用方法については、本取扱説明書の該当する項目よりご参照ください。

⑯ 必要に応じて、15 インチ液晶コントロールユニットの位置を調整します。

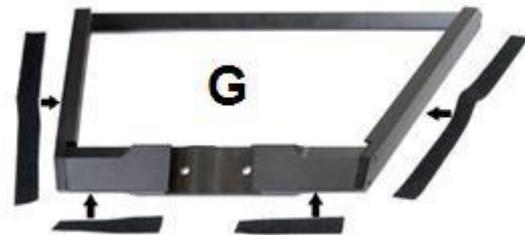
⑰ 必要に応じて、カメラの露出設定を調整します。本取扱説明書のカメラ露出のセクションを参照してください。

組み立て（自立型構成）



①固定ネジ（アイテム C）を使用して、ENG プロンプターフレーム（アイテム B）の下部を、自立式レール（アイテム AA）にある逆ネジの穴を使って固定します。

注：プロンプターレール（アイテム A）にガラスフレームを取り付けるため、取付穴を2つ残しておいてください。



②布製スヌード（アイテム I）の中には、粘着性のあるベルクロストラップが4つ入っています。ガラスフレーム（アイテム G）の左右エッジに付属の長いマジックテープ（計2枚）を、下側のエッジに付属の短いマジックテープ（計2枚）を貼り付けます。

注）マジックテープはまっすぐ貼り付けてください。またネジの上に貼り付けないように気をつけてください。



③ガラスフレーム（アイテム G）をフリースタンドレール（アイテム AA）の前面にスライドさせて装着します。ガラスフレーム（アイテム G）の上部がカメラ位置から傾いていることを確認し、ウイングナットネジ（アイテム H）2個で固定します。



④ガラスフレーム（アイテム G）の左右にある溝に 70/30 ミラーガラスシート（アイテム J）をスライドさせて取り付けます。

※ガラスを破損しないようにお取扱には十分注意してください

※ガラス両面の角にそれぞれ赤と緑の丸いシールがあります。赤側をカメラレンズ側に向け、緑側の面にタブレット原稿を映し出します。

⑤オプションとして、各フレームスロットの上部にある小さな M4 ネジ（アイテム Z）を使用して、フレーム内にガラスシートを固定できます。また六角レンチ（アイテム D2）を使ってネジを締めることができます。



⑥15 インチ液晶コントロールユニット（アイテム F）を ENG プロンプターフレーム（アイテム B）の下部に 1/4 インチネジ（アイテム E）を使って取り付けます。



⑦ENG プロンプターフレーム（アイテム B）の下側を、3つの3/8ネジ穴のいずれかを使って三脚やライトスタンドに取り付けることができます。必要であれば、3/8→1/4変換アダプター（アイテム P）を使用してください。通常、タレントモニターを使用しない場合は、中央の3/8穴を使用してください。タレントモニターを使用する場合は、前面の3/8穴を必ず使用してください。

注：ライトスタンドは、タレントモニターなしで TP-700 を使用する場合にのみ使用し、タレントモニターを使用する場合は、適切な三脚を使用してください。



⑧スヌードのフードサポートワイヤー（アイテム K）を取り付けます。これは、布製のスヌードがカメラのレンズの前に潜り込むのを防ぐためのものです。このフードサポートワイヤーのための穴が、ガラスフレームに2か所あります。



⑨布製スヌード（アイテム I）をガラスフレームの角（アイテム G）に取り付けます。マジックテープを使い、スヌードをガラスフレームに固定します。



⑩ドロークコードを引いて、布製スヌード（アイテム I）をカメラレンズを覆い、光を遮断します。

⑪dvPrompter Plus ソフトウェアが自動的にロードされます。ソフトウェアの詳細な使用方法については、本取扱説明書の該当する項目よりご参照ください。

⑫必要に応じて、15インチ液晶コントロールユニットの位置を調整します。

⑬必要に応じて、カメラの露出設定を調整します。本取扱説明書のカメラ露出のセクションを参照してください。

組み立て（オプション タレントモニター）



①タレントモニター垂直マウントレール（アイテム S）を取り付け、ENG プロンプターフレーム（アイテム B）の下側に M4 ネジ（アイテム BB）で固定します。



②モニターに 75mm VESA マウントがある場合は、14mm M4 ネジ（アイテム U）を使って、垂直マウントレール（アイテム S）にモニターを直接取り付けます。



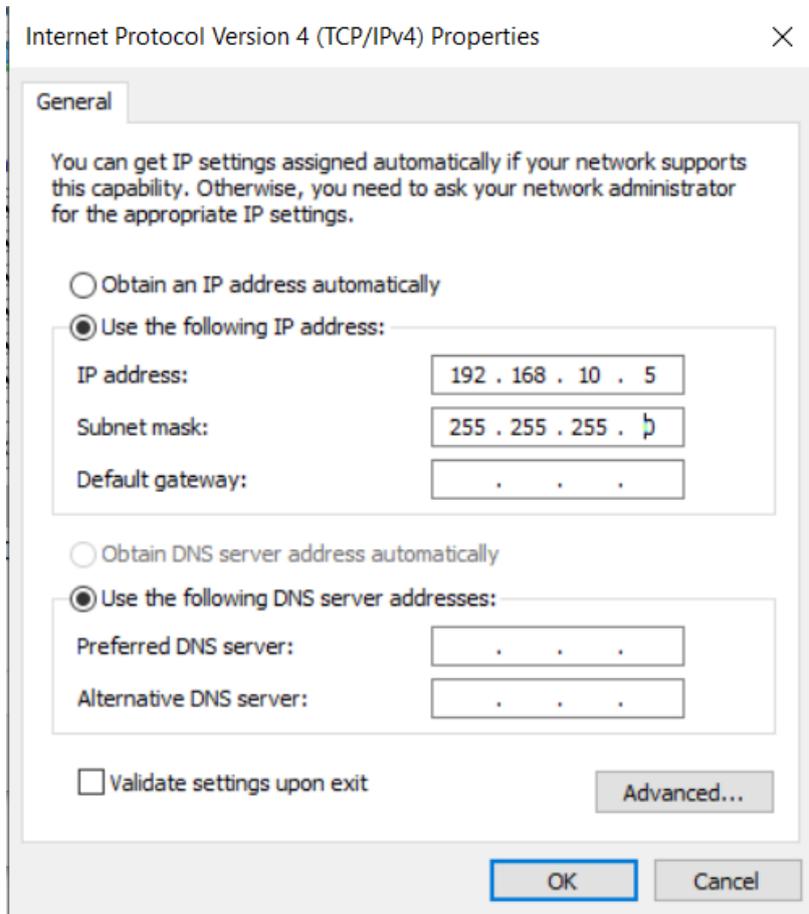
③お手持ちのモニターが 100mm VESA マウントの場合、まず VESA アダプタープレート（アイテム T）を垂直マウントレール（アイテム S）に 12mm M4 ネジ（アイテム CC）で取り付けてから、モニターを VESA アダプタープレートに 8mm M4 ネジ（アイテム CCC）で取り付けてください。

IP を介した PC との接続

PC とネットワークに接続して、IP を介した制御と監視を行います

TP-700 には、Datavideo dv Prompter Plus アプリが組み込まれています。従来のスピーチプロンプターとは異なり、最新の Web ブラウザーを使用してイーサネット接続デバイスから監視および制御が出来ます。

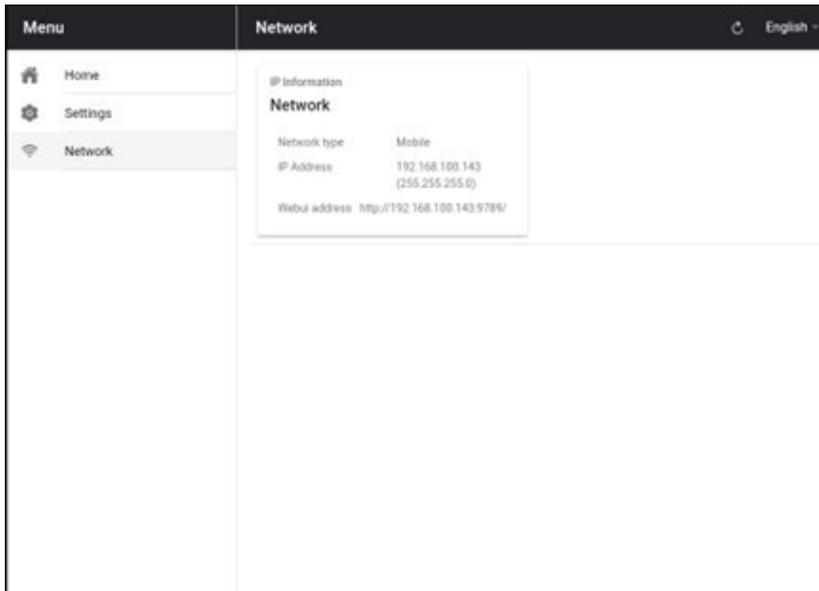
- ①TP-700 と PC をイーサネットケーブルで接続します
- ②TP-700 の電源を入れると、dv Prompter Plus アプリが自動的に開きます
- ③TP-700 のデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.10.10 です。また、PC に静的 IP アドレスを設定する必要があります。
- ④Windows コンピューターの電源を入れ、Windows ネットワークおよび共有センター内で設定された静的 IP に設定します。この例では、コンピューターに次の IP 設定が与えられているため、コンピューターは TP-700 と同じ IP 範囲に設定します。



- ⑤Web ブラウザーを開き、<http://192.168.10.10:9789> に移動すると、以下に示すメインコントロールページが表示されます。
- ⑥ソフトウェアの操作手順については、このマニュアルの「dv Prompter Plus App」セクションを参照してください。

ルーター/ DHCP LAN 経由の接続

- ①付属の USB マウスを TP-700 に接続し、電源を入れます
- ②TP-700 が起動したら、右クリックで dv Prompter Plus アプリを閉じます。
- ③ [設定]> [その他]> [イーサネット]に移動します
- ④「イーサネット IP モード」を静的から DHCP に変更します
- ⑤TP-700 を既存の LAN に接続します
- ⑥dv Prompter Plus アプリを開きます
- ⑦メニューバーをクリックしてから[ネットワーク]をクリックします
- ⑧ネットワーク制御 URL は以下のように表示されます
- ⑨ソフトウェアの操作手順については、このマニュアルの「dv Prompter Plus App」セクションを参照してください。



70/30 ガラスのクリーニング



この製品には 70/30 ガラスのシートが含まれていますので、取り扱いには注意してください。

損傷や怪我のリスクを回避するために、この取扱説明書に従い、製品のこの部分を輸送、開梱、清掃、組み立て、または分解するには最新の注意をしてください。

Datavideo は、ほこりや指紋の跡を取り除くために、定期的にガラスを掃除することをお勧めします。これにより、カメラがガラス越しに撮影する際に最高の画質が得られます。

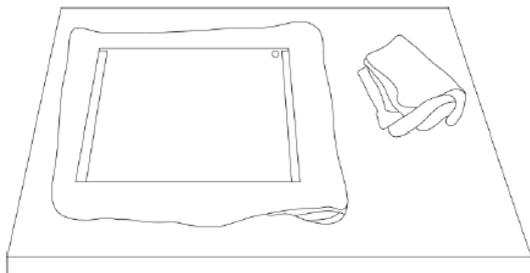
プロンプターに取り付けられている間は、ガラスを絶対に掃除しないでください。

プロンプターからガラスを慎重に取り外し、ガラスを掃除してから、プロンプターフレームに再度取り付けてください。ガラスの布で覆われた端を常に使用して、ガラスを慎重に取り扱ってください。

ガラスに必要な品質を維持し、洗浄中にガラスに傷を付けないようにする為に以下項目を順守して下さい。

※ガラスに研磨布、パッド、または研磨剤ベースの洗浄液を使用しないでください。

※酸または酢溶液をベースにした洗浄液は絶対に使用しないでください。



清潔な布を敷いたテーブルなど、柔らかくて安定した汚れや糸くずの出ない作業台にガラスを置きます。

次に、糸くずの出ない柔らかい布を使用して、ガラスを清掃します。

ガラスに直接洗浄液を塗布しないでください。少量の洗浄液を布に塗布またはスプレーしてください。

ガラスの掃除に進み、布で軽く円を描くように動かします。ガラスを裏返して反対側で繰り返す前に、すべての指の跡と縞がなくなっていることを確認してください。

オプション（別売り）：テレプロンプターリモートコントロール

TP-700 プロンプターは、ノートパソコンやタブレットを使って、IP 経由でリアルタイムに制御・監視することができます。

オプションとして、Datavideo WR-500 ハンドヘルドコントローラー、Datavideo FS-30 フットスイッチコントローラーを使用することができます。
詳しくは、以下をご覧ください。

1. ハンドヘルドコントローラー(WR-500)

この WR-500 リモコンは、Bluetooth と有線操作をサポートしています。

※TP-700 では有線操作のみがサポートされています。



有線モード

開封時、WR-500 リモコンは有線モードになっています。

ボタンを押すと、赤い LED が点滅します。

有線モードでは、リモコンを TP-700 にケーブルで接続する必要があります。

このリモコンには、4 極ジャック-ジャックプラグケーブルが付属しています。ケーブルの一端は 3.5mm 入カアダプター（アイテム X、TP-700 に付属）に適合します。もう一方の端は、WR-500 リモコンのジャックソケットに差し込みます。

注意：

このリモコンを有線モードで使用する場合は、[リモコン]メニューオプションで DV Prompter Plus アプリも [有線-WR-500] に設定する必要があります。

①ハンドヘルドコントローラーの接続と操作



テキストスクロールスピードアップ/マーカー次へ



テキストスクロールスピードダウン/マーカー戻る



一時停止/再開



フォントサイズを小さく/前のスク립トを呼び出す



フォントサイズを大きく/次のスク립トを呼び出す

- ① 充電及び表示用 LED ライト
LED 赤(ワイヤードモード)
LED 緑(Bluetooth モード)

- ②首掛け用ストラップ取付ソケット



首掛け用ストラップを②に取り付けた様子



②ハンドヘルドコントローラーご利用方法

本体にはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。
電池が切れた際はユーザー自身で電池の交換をして下さい。



カバーを外して
表面(+)を上に向けて差し込む

※手袋等を使用して作業を行ってください
指紋を付けると錆びが発生して不具合の原因になります。
※電源は本体が5分無操作状態が続くと自動的に切れます。

『WR-500』 ワイヤードモード（有線）で使用

出荷時にはワイヤードモードに設定されています。必要に応じてワイヤレスモードに切り替えることが可能です。

ワイヤードモードで使用する場合は、本体を付属のワイヤード（有線）用ケーブルでスマートフォンまたはタブレットに接続して下さい。

ジャックプラグコネクタはタブレット端末のミニジャックソケットに適合します。

※) ワイヤードモードで使用する場合は、dv Prompter アプリの Settings - Remote Type で“Wired - WR-500”に設定して下さい。

ワイヤレスモードからワイヤードモードに戻す場合、再生/停止ボタンを緑のLEDが点灯するまで長押しして下さい。

再生/停止ボタンを離し、もう一度いずれかのボタンを押したときに赤のLEDが点灯すると、ワイヤードモードに切り替わっています



※TP-700では有線操作のみがサポートされています。



2. フットスイッチコントローラー(FS-30)

この FS-30 フットスイッチは、ワイヤードで直接コントロールすることも可能です。USB で接続し、3 つのペダルを使用し操作します。また、非接触型の光電センサーを使用しているため、ほぼ無音で操作可能です。

FS-30 は、テキストのスクロールとスライドの両方のコントロールに対応しています。



①フットスイッチコントローラーのボタン説明

FS-30 は dvPrompter Plus バージョン 1581 以降の TP-700 テレプロンプターに対応します。dvPrompter Plus ソフトウェアのアップ デートについては、本取扱説明書の該当項目を参照してください。

FS-30 をテレプロンプターの 15 インチ液晶モニターの白い USB ポートに接続してください。接続後すぐに動作しますので、dvPrompter Plus アプリケーションでコントロールオプションを設定する必要はありません。

各ペダルの機能は下表のとおりです。

ボタン	テキストスクロール	一時停止	スライド
左ペダル	スクロールスローダウン	マーカー戻る	スライド戻る
右ペダル	スクロールスピードアップ	マーカー次へ	スライド次へ
真ん中ペダル	一時停止	再生	N/A

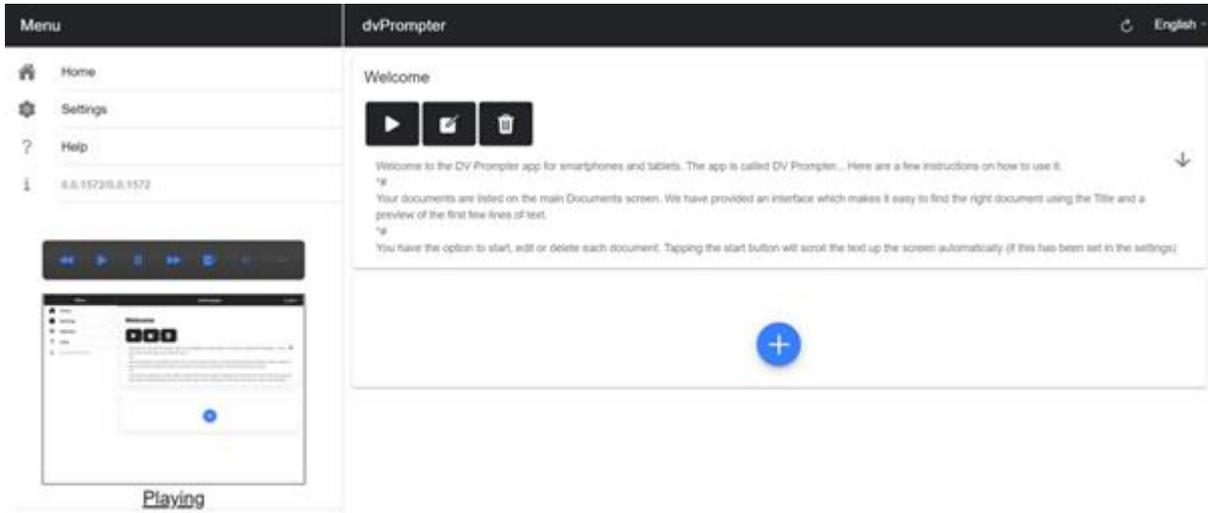
Dv Prompter Plus アプリ

TP-700 には、プロンプタープラスアプリケーションがインストールされています。

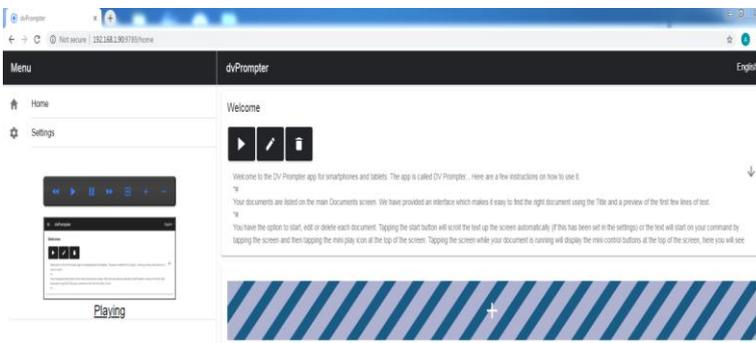
1.ドキュメント画面

アプリを初めて起動すると、以下の画面が表示されます。

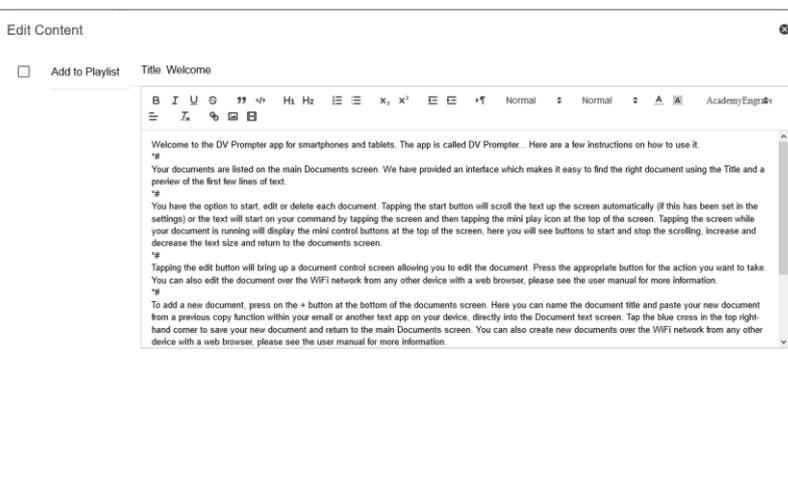
左上隅のメニューバーから、さまざまな設定メニューにアクセスできます。



2.スクリプトの作成と編集



①アプリのリモコン web にアクセスする方法については、このガイドの「ネットワーク」セクションをご覧ください。



②デバイスで新しいスクリプトを作成するには、[+]ボタンをタップし、タイトルを入力してから、リッチテキストエディターにスクリプト本文を入力します。「X」をタップしてリッチテキストエディタを閉じると、スクリプトが自動的に保存されます。デバイスでスクリプトを編集するには、[編集]ボタンをタップするだけです。

③リッチテキストエディタを閉じて[X]をタップすると、スクリプトが自動的に保存されます。

3.スライド

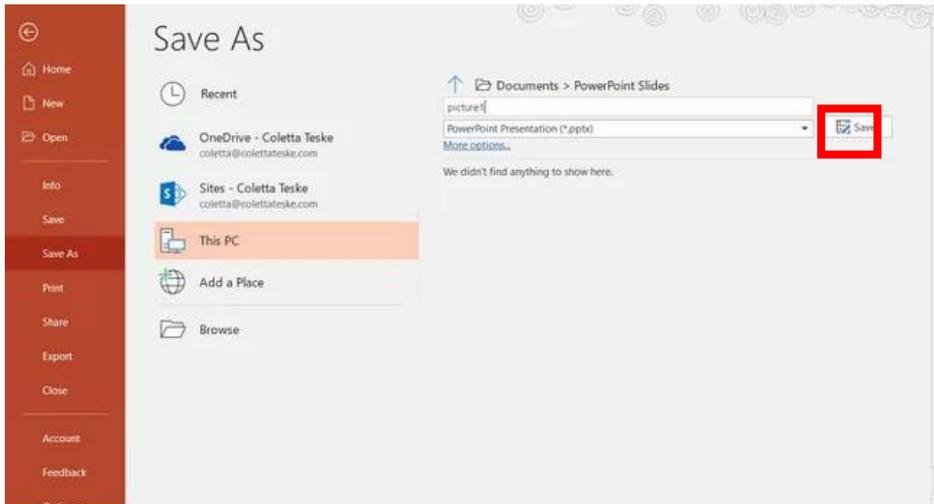
dvPrompter Plus は、テキストベースのスク립トとスライドをシームレスに切り替えることができ、スライドとテキストベースのスク립トをプレイリストに追加することができます。

dvPrompter Plus はスライドのリアルタイムミラーリングに対応しており、ミラーガラス越しに見てもコンテンツは正しい方向に表示されます。

注：スライドモードでは、スライドを画像として取り込むことができますので、PowerPoint や Keynote からは、まずスライドを画像としてエクスポートする必要があります

● PowerPoint からスライドをエクスポートする

- ①スライドを変換する前に、PPTX または PPT 形式に PowerPoint プレゼンテーションを保存します。
- ②使用するスライドを選択する。すべてのスライドを使用する場合は、すべてのスライドを選択します。
- ③「File (ファイル)」→「Save As (名前を付けて保存)」を選択します。Mac 版 PowerPoint では、「File (ファイル)」→「Export (書き出し)」を選択します。
- ④ 保存する場所を選び、ファイル名を入力します

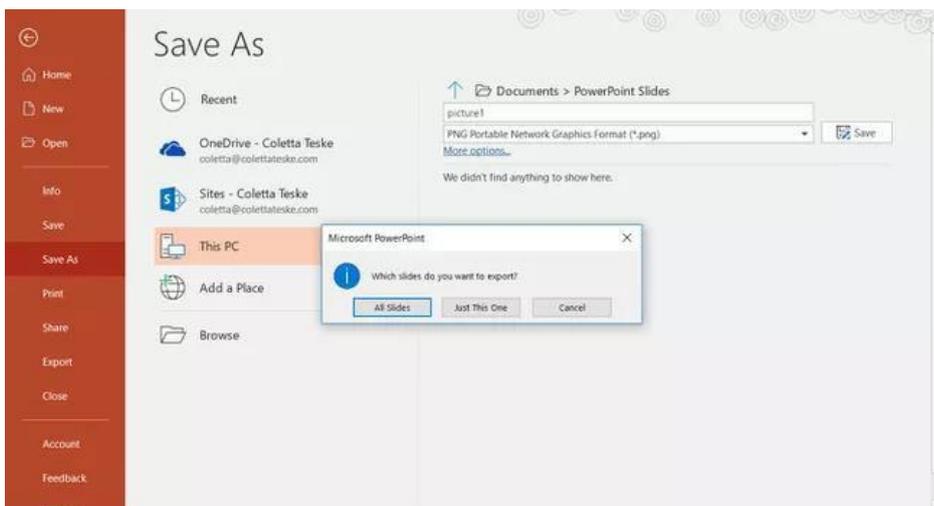


⑤ 「Save as」の下矢印を選択すると、ファイル形式のリストが表示されます。デフォルトでは、PowerPoint Presentation (*.pptx) がテキストボックス内に表示されます。Mac の場合は、「(File Format) ファイル形式」横のメニューを使用します。

⑥ プレゼンテーションを保存する画像形式を選択します。JPEG を選択します。

⑦ 「Save (保存)」を選択します。Mac 版 PowerPoint では、「Save Every Slide (すべてのスライドを保存)」または「Save Current Slide (現在のスライドのみを保存)」のいずれかを選択し、「Export (エクスポート)」を選択します。

⑧ 「All Slides (すべてのスライド)」または「Just This One (このスライドだけ)」を選択し、エクスポートします。

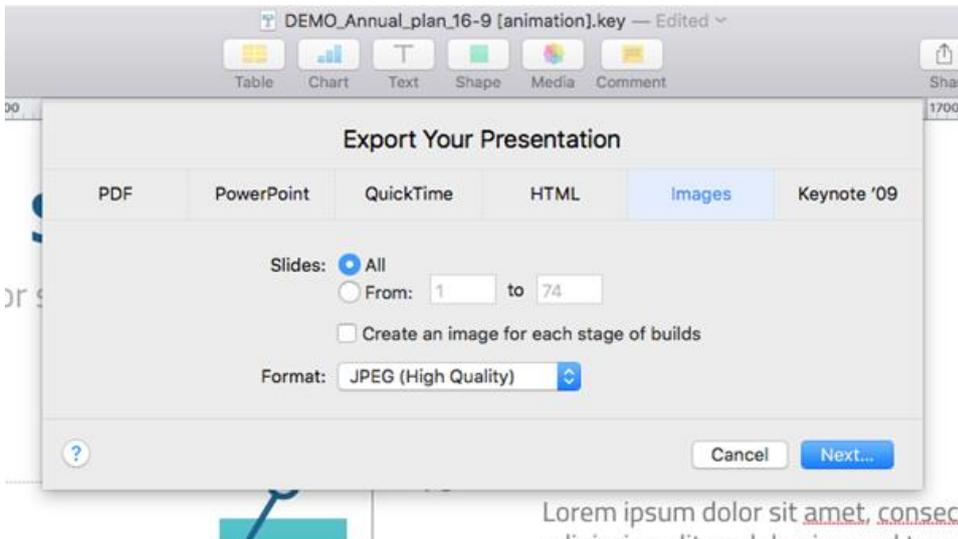


⑨ 選択したファイル形式でスライドが保存されます。

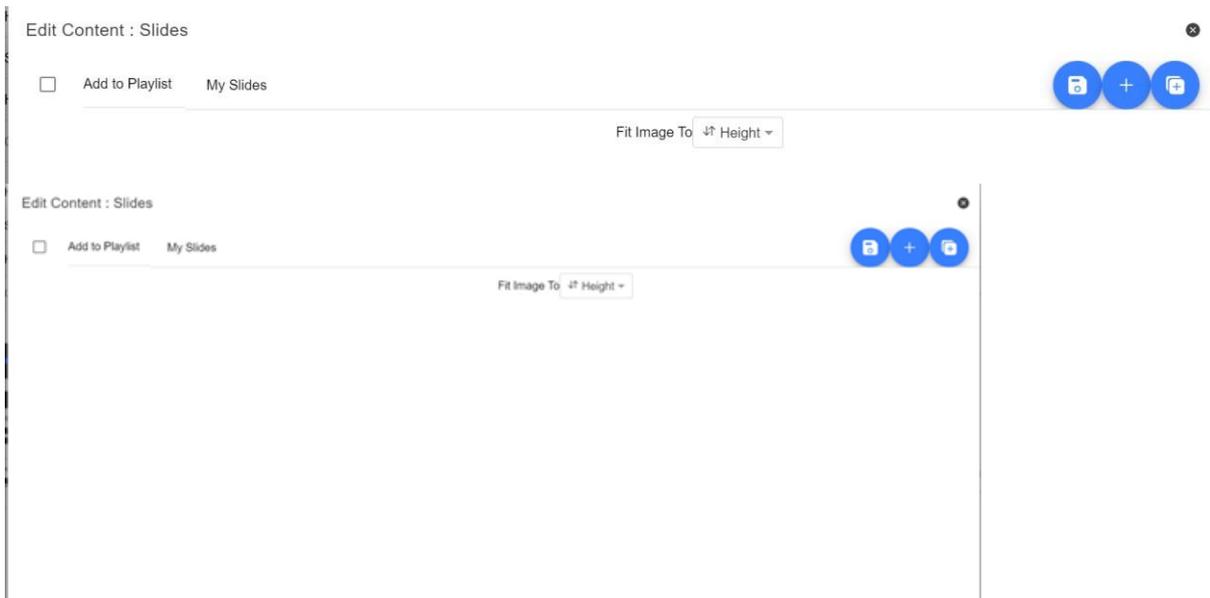
注) 複数の PowerPoint スライドを個別のファイルに変換する場合、変換先フォルダに新しいフォルダが作成されます。この新しいフォルダは、プレゼンテーションと同じ名前を使用します。PowerPoint ファイルを保存していない場合、エクスポートされたスライドは、例えば Presentation1 などのデフォルト名でフォルダに保存されます。

●Keynote からスライドをエクスポートする

- ①スライドを画像に変換する前に、作業が失われないようにプレゼンテーションを保存してください。
- ②トップメニューで「File (ファイル)」 > 「Export to (エクスポートへ)」 > 「Images (画像)」を選択します。
- ③「JPEG (高画質)」形式を選択し、画像として保存したいスライドの範囲を指定します。すべてのスライドを保存したい場合は、「ALL」にチェックを入れます。



- ④「Next (次へ)」をクリックします。
- ⑤開いたウィンドウで、画像を保存するフォルダを選択します。スライドのデフォルト名を設定します。エクスポートの際に、KeyNote はこの名前にシーケンス番号を自動的に追加します。



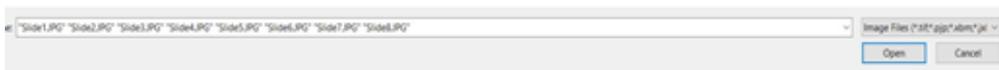
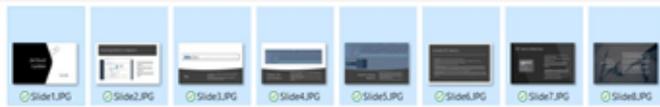
- ③複数のスライドをインポートするには、「ボタン 2」をクリックします。「ボタン 1」は、既存のスライドデッキに 1 枚のスライドを追加するために使用することができます。



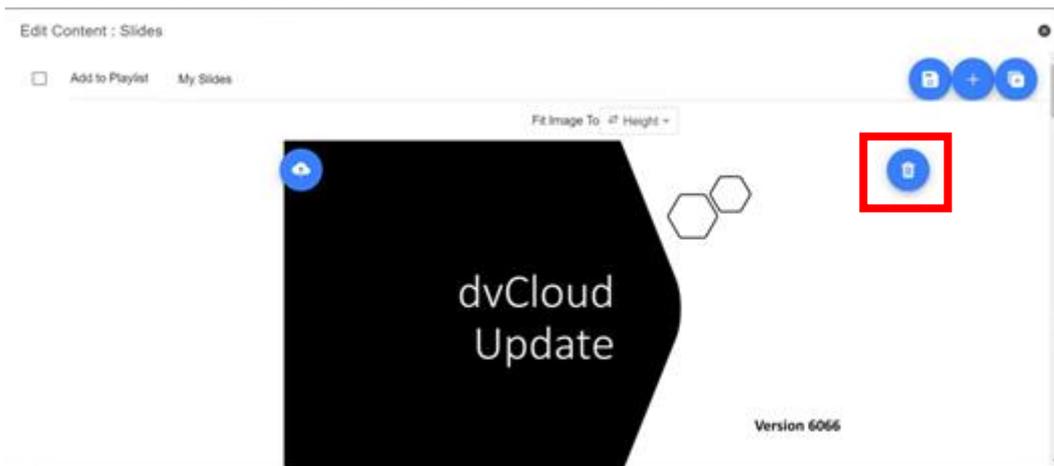
1

2

④インポートしたいスライドを全て選択します。「CTRL+A」で全て選択できます。



⑤スライドはアルファベット順にインポートされます。各スライドの横にある青いゴミ箱アイコンをクリックすると、個々のスライドを削除することができます。



⑥デバイスの「Height（高さ）」または「Width（幅）」に画像を合わせることができます。スライドとデバイスの画面のアスペクト比に基づいて、スライドの伸縮を避けるオプションを選択します。

⑦スライドは、「X」をクリックして表示されている画面を閉じると自動的に保存されます。また、表示画面の右上隅にある青い保存ボタンを使用して変更を保存することもできます。

⑧スライドを編集するには、「Edit」ボタンをクリックします。

4.リアルタイム編集

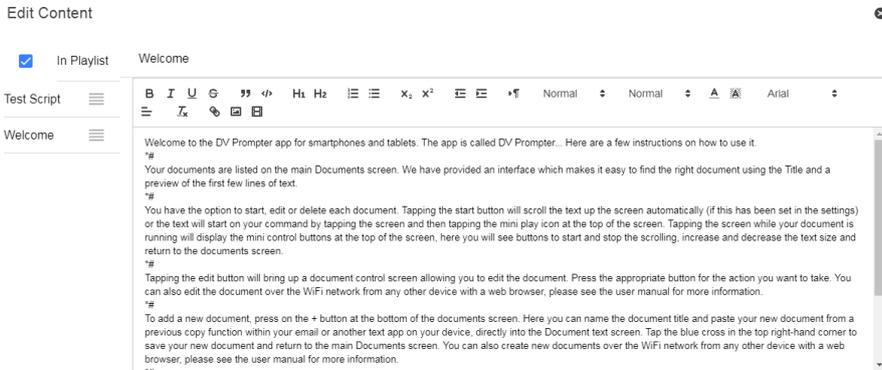
リアルタイム編集は、現在画面上にあるスクリプトを修正することができます。ウェブインターフェースを介してスクリプトを修正し、変更を保存すると同時にリアルタイムで更新されるのを見ることができます。

注) 変更が読み込まれる間、スクロールするテキストは一時的に停止します。

5.プレイリスト

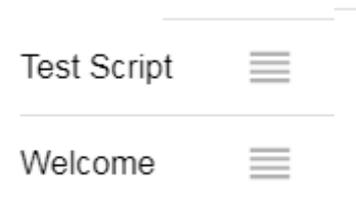
●プレイリストにスクリプトを追加する

webui を介してスクリプトを作成または編集するときに[プレイリスト内]オプションをオンにすると、アプリはリスト内の次のスクリプトを自動的に読み込むことができます。また、ハードウェアリモコンを使用してスクリプト間をすばやくジャンプすることもできます（の制御セクションを参照）。詳細については、このガイドを参照してください）。
プレイリストの順序を変更する



●プレイリストにスクリプトを追加する

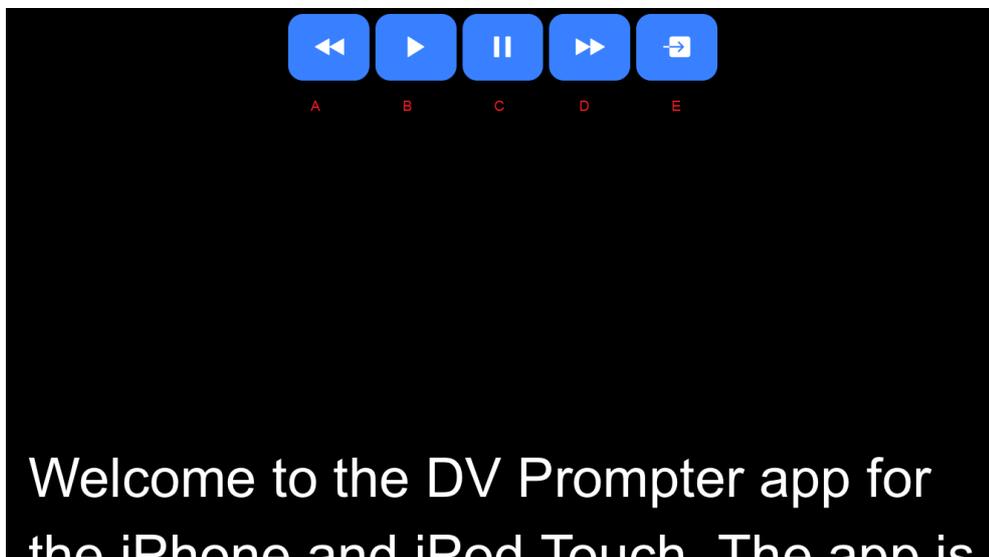
プレイリストの実行順序を変更するには、スクリプト名の右側にある水平バーをクリックして、目的の位置にドラッグします。



6.コントロール

●デバイス経由（USB マウス）

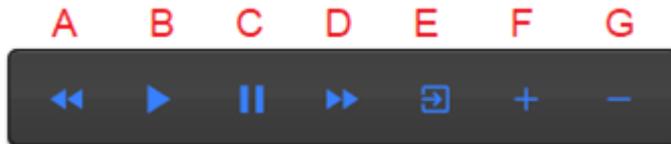
スクリプトの読み込み時に画面をクリックすると、以下のメニューバーが表示されます。



- A : スクロールするときはテキストサイズを小さくするか、一時停止するとプレイリスト内の前のスクリプトにジャンプします
- B : スクロールを開始/一時停止します
- C : スクロールを開始/一時停止します
- D : スクロール時にテキストサイズを大きくする/一時停止するとプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
- E : スクリプトをアンロードして、ドキュメント画面に戻ります

●Web インターフェイス経由

アプリのリモコン webui にアクセスする方法については、このガイドの「ネットワーク」セクションをご覧ください。
ネットワーク制御インターフェイスを以下に示します。



- A : スクロールするときはテキストサイズを小さくするか、一時停止するとプレイリスト内の前のスクリプトにジャンプします
- B : スクロールを開始/一時停止します
- C : スクロールを開始/一時停止します
- D : スクロール時にテキストサイズを大きくする/一時停止するとプレイリストの次のスクリプトにジャンプする
- E : スクリプトをアンロードして、ドキュメント画面に戻ります
- F : スクロール時の速度を上げる/一時停止時に前のブレイクマーカにジャンプする
- G : スクロール時の速度を下げる/一時停止時に次のブレイクマーカにジャンプする

●キーボードのショートカットについて

キーボードショートカットは、上記のボタン (A~G) のいずれかに割り当てることができます。キーボードショートカットを有効にし、割り当てするには、まずウェブインターフェースの「Settings (設定)」メニューから「Enable Hotkeys (ホットキーを有効にする)」のオプションを有効にします。デフォルトのショートカットは以下のとおりです。

ショートカットを変更するには、マウスで該当のボタンを左クリックし、割り当てたいキーの組み合わせを押すだけです。

注意：システム機能に割り当てられている、または編集時に使用されるキーの組み合わせを割り当てないように注意してください。



●オプションのハードウェア・リモート・コントロールの使用

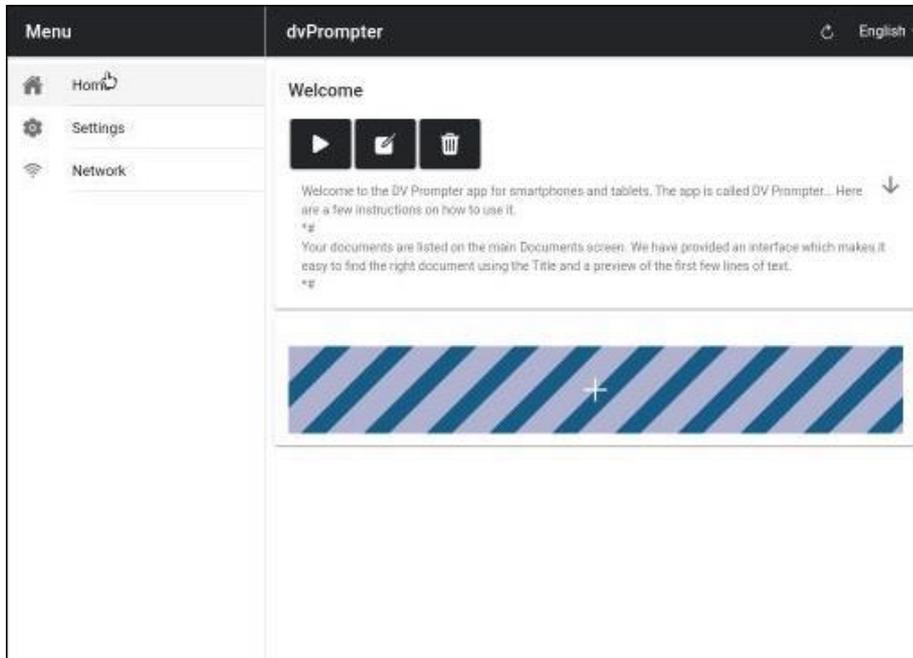
詳細は、本マニュアルの「オプションのテレプロンプターリモートコントロール」の項を参照してください。

7.メニューバー

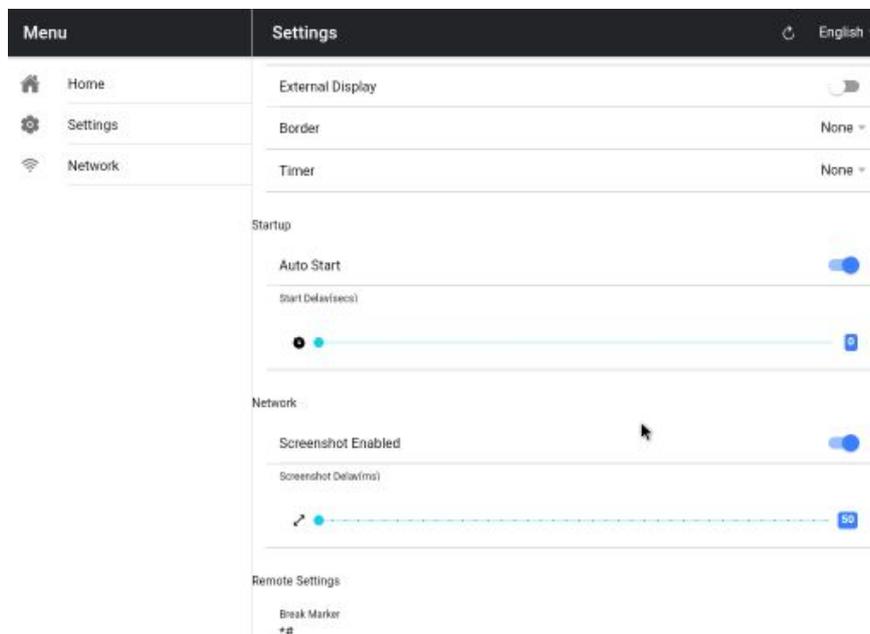
・メニューバー（ドキュメント画面の左上隅にあります）をクリックすると、以下に示すメニューが表示されます。

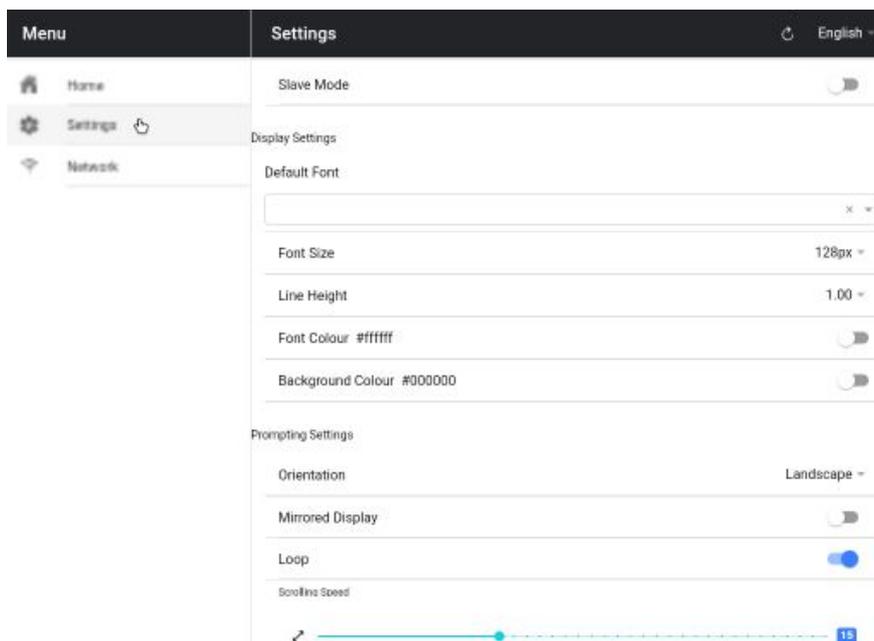
次の3つのオプションが表示されます。

- HOME (ホーム)-ドキュメント画面に戻る
- Setting (設定)-すべてのアプリ設定を表示します
- Network (ネットワーク)-ローカルイーサネットネットワークを介して Web ブラウザを使用して任意のデバイスからアプリにアクセスするために必要なアドレスを表示します



・セッティング(Settings)





●スレーブモード：有効にすると、デバイスは別の dvPrompter アプリのスレーブ画面として機能し
 ます。

詳細については、「複数のデバイスの同期」セクションを参照してください。

- デフォルトフォント：エディターで使用されるデフォルトフォントを選択します（これは、エディターを使用してスクリプトごとにオーバーライドできます）。
- フォントサイズ：デフォルトのフォントサイズを設定します。これは、エディター内でフォントサイズが設定されていないすべてのテキストに適用されます。
- 行の高さ：スクロール時の行間の間隔を設定します。値が 1 未満の場合、テキストが重なる可能性があります。

フォントの色：デフォルトのフォントの色を設定します（これは、エディターを使用してスクリプトごとに上書きできます）。

- 背景色：背景色を設定します。
- 向き：デバイスを「横向き」にするか「縦向き」にするかを選択します。
- ミラー表示：デバイスから直接テキストを読み取る場合は「オフ」に設定し、ミラーを介してテキストを読み取る場合は「オン」に設定します。
- ループ：「オン」に設定すると、終了時にスクリプトが継続的にループします（プレイリストが使用されていない場合にのみ有効です）。
- スクロール速度：テキストがスクロールを開始する速度を設定します。これは、ハードウェアまたはネットワークのリモコンで調整できます。
- キューマーカー：オプションでキューマーカーを選択して、タレントが読む必要のあるテキスト行を定義します。

キューの背景：キューマーカーの背景色を設定します（プレーンまたは組み合わせたキューマーカーを使用する場合にのみ有効です）。

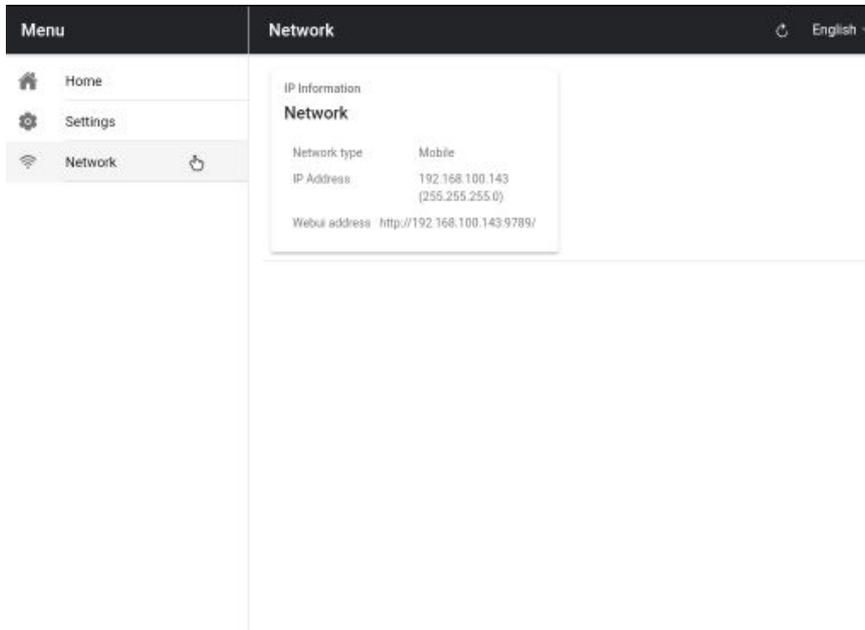
- 外部ディスプレイ：無効にすると、HDMI またはワイヤレスで接続された 2 番目のディスプレイがメインディスプレイをミラーリングします。有効にしたテキストが 2 番目のディスプレイでのみスクロールする場合、メインディスプレイを使用して、スクリプトの作成と編集、およびテキストの制御を行うことができます。
- 境界線：スクロールするテキストの周囲に境界線を追加するために使用されます。これは、テキストがモニターやビームスプリッターガラスの端に近すぎる場合に役立ちます。
- タイマー：テキストが画面上でスクロールされている時間を示すタイマーを表示します。タイマーは、新しいスクリプトが読み込まれるとリセットされ、スクリプトが一時停止されると一時停止します。
- 自動開始：「オン」に設定すると、スクリプトは自動的にスクロールを開始します。「オフ」に設定すると、オンスクリーンメニュー、ハードウェア、またはネットワークリモコンを使用してスクリプトを開始する必要があります。
- 開始遅延：オプションで、開始コマンドが発行されてからテキストがスクロールを開始するまでの遅延（秒単位）を設定します（手動開始と自動開始で機能します）。
- スクリーンショットを有効にする：Web インターフェイスを介したリモート監視に使用されるスクリーンショットを有効または無効にします。
- スクリーンショット遅延（ミリ秒）：スクリーンショットが取得され、リモート監視のためにネットワーク Web インターフェイスに送信されるミリ秒単位の時間。値が小さいほど遅延は少なくなりますが、CPU とネットワークの使用量は多くなります。値が小さいほど、より高速なハードウェアが必要になります。
- ブレイクマーカー：* # のように、スクロールされたテキストのブレイクを示すブレイクマーカーと呼ばれるテキスト文字を設定することもできます。これらのマーカーを使用すると、ハードウェアまたは

ネットワークリモコンを使用しているときに、製造の実行順序が変更された場合に、テキスト内のポイント間をすばやく前後にジャンプできます。

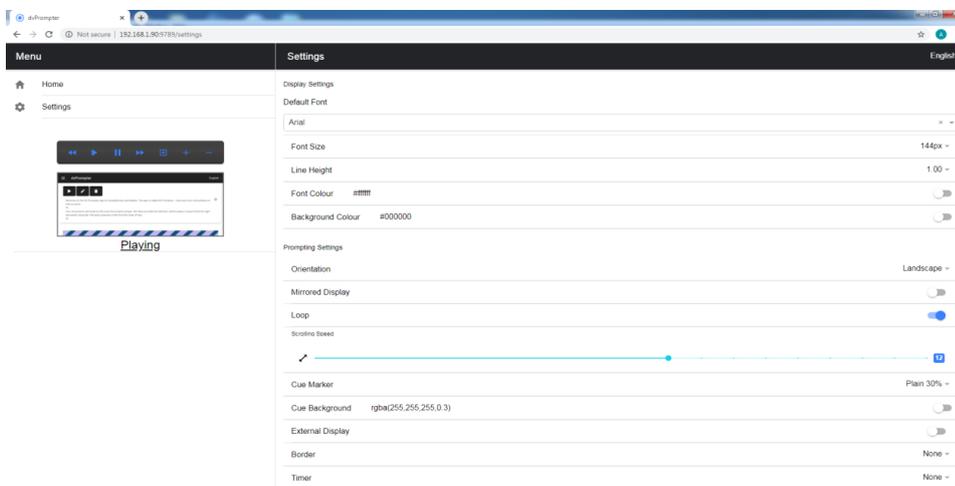
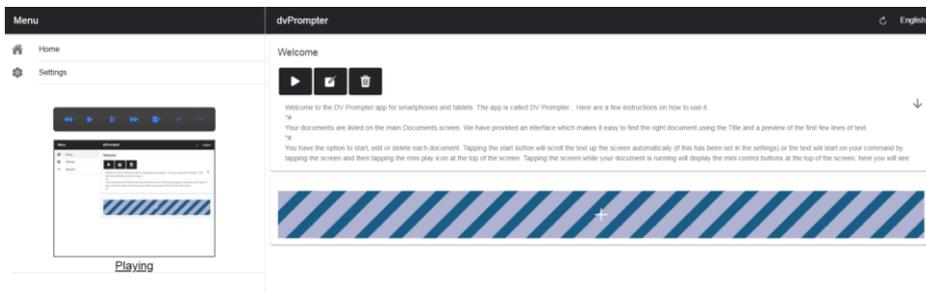
- リモートコントロール：オプションの DatavideoWR-500 コントローラーを使用してスクリプトを制御できます。Bluetooth または有線モードのいずれかを選択してください。
- Webui アクセス：すべてのオプション機能は、TP-700 ですでにロック解除されています。

8. ネットワーク

デバイスが Wi-Fi またはイーサネットネットワークに接続されている場合は、ネットワーク経由でアプリを制御できます。同じネットワーク上の別のデバイスの Web ブラウザーに webui アドレスを入力して下さい。



以下にリモコンインターフェースの例を示します。



9.複数のデバイスの同期

●HDMI 経由



TP-700 は HDMI 入力および出力ポートを備えており、1 つの TP-700 の HDMI 出力を別の TP-700 の HDMI 入力に接続することにより、複数の TP-700 ユニットのダイジーチェーン接続できます。

HDMI 入力を使用するには：

- 1.付属の USB マウスを接続します
- 2.dv Prompter Plus アプリケーションを閉じます
- 3.「HDMIIN」アプリケーションを起動します

●イーサネット経由

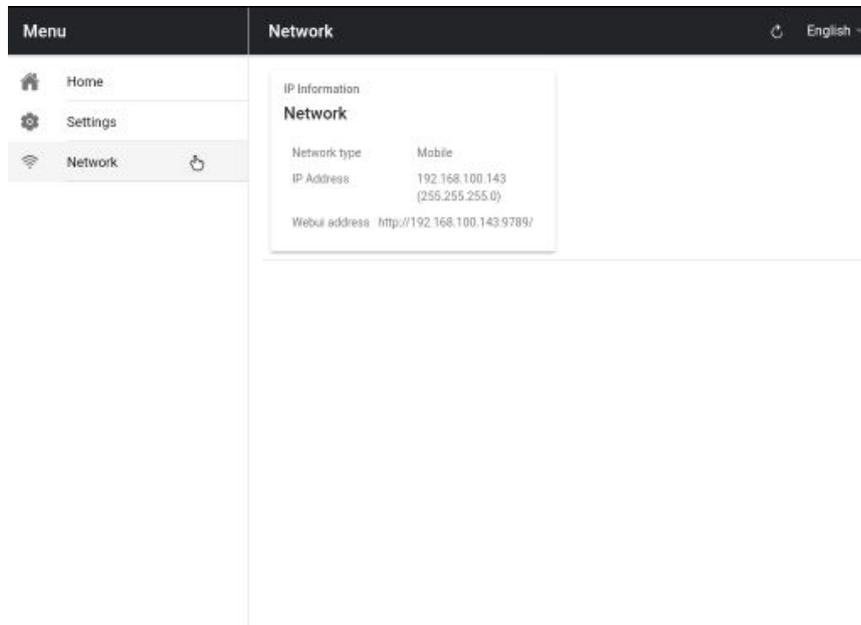
この機能を使用すると、イーサネットネットワークを介して 2 つ以上のデバイスでスクロールテキストを同期できます。

(要件)

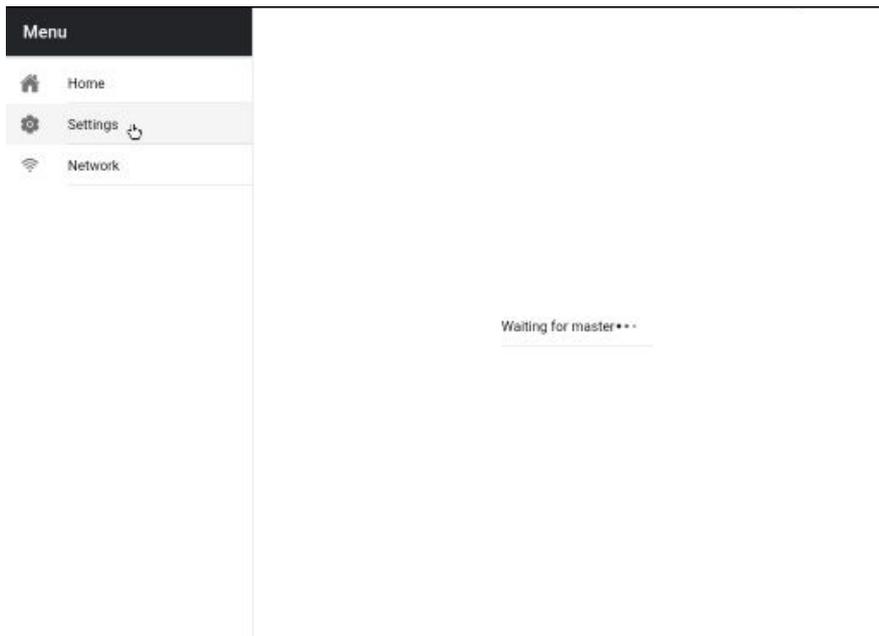
- 同期が機能するには、すべてのデバイスが同一である必要があります（画面の高さが同じデバイスでも機能する場合がありますが、これは保証されません）。
- スレーブデバイスはマスターデバイスに追加の負荷をかけます。接続できるスレーブデバイスの数は、マスターデバイスのパフォーマンスによって異なります。
- すべてのスレーブデバイスは、マスターデバイスと同じローカルネットワークに接続する必要があります。

(セットアップ手順)

- ①ネットワークメニューに移動して、マスターデバイスの IP アドレスを取得します。
- ②スレーブデバイスの設定メニューを開き、スレーブモードを有効にして、マスターの IP アドレスを入力します。

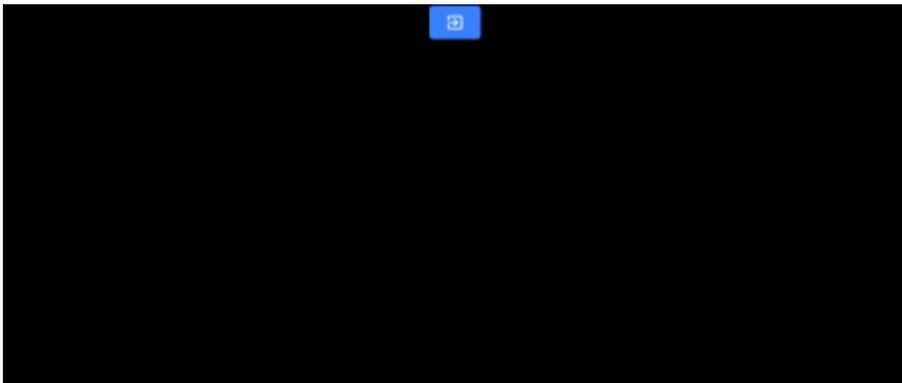


③メニューバーの[ホーム]をタップします。スレーブがマスターへの接続を確立している間、以下の画面が表示されます。



④接続すると、画面が白から黒に変わり、スレーブはマスターをミラーリングします。

⑤スレーブモードを終了するには、画面をタップしてから青い終了ボタンを押すと、アプリが閉じます。



10. 外部ディスプレイの接続

TP-700 の HDMI 出力を使用して外部ディスプレイを接続できます。

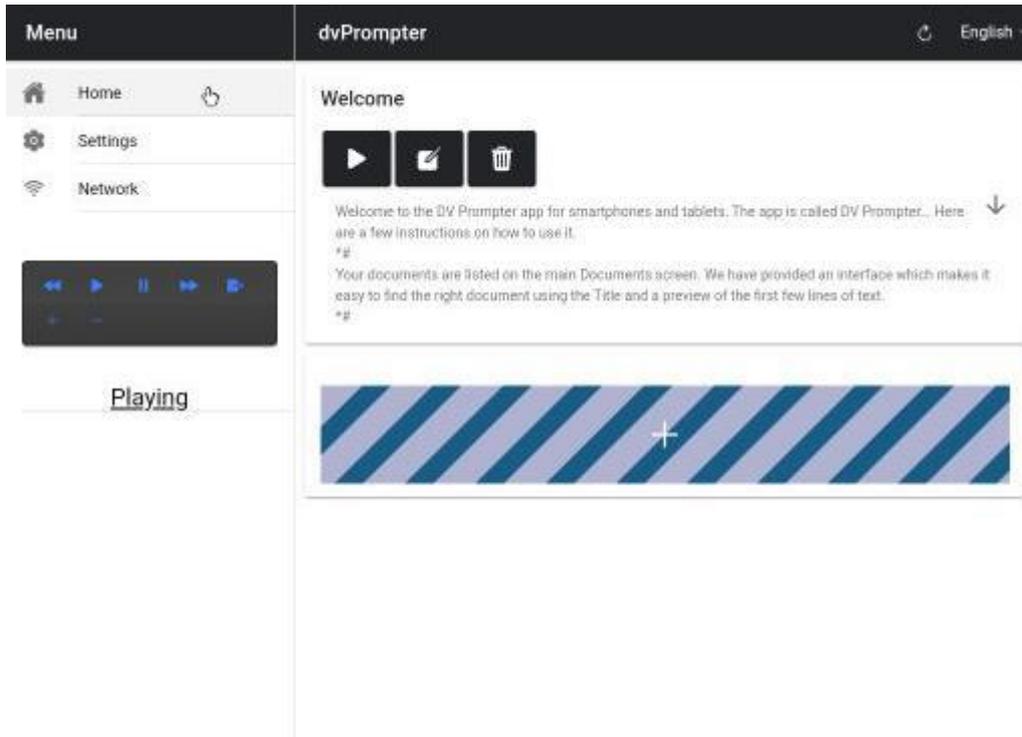
●イーサネット経由

・外部ディスプレイ設定を無効にする（webUI コントロールを使用する場合に推奨）

このモードでは、外部ディスプレイはデバイスの画面をミラーリングします。

・外部ディスプレイ設定を有効にする（USB キーボードとマウスを使用する場合に推奨）

このモードでは、テキストは外部ディスプレイ上でのみスクロールし、デバイス画面をスクリプト制御および編集のために解放します。スクリプト制御オプションには、以下に示すようにメニューバーからアクセスできます。

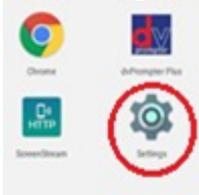


●外部ディスプレイの回転

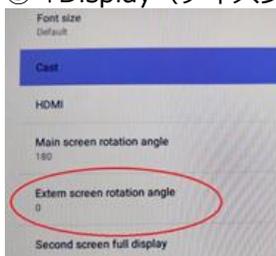
デフォルトでは、液晶画面の回転角度は 180 度、外部 HDMI 出力は 0 度に設定されています。HDM で複数台の TP-700 を接続する場合はこの設定で問題ありませんが、HDMI 出力で外部ディスプレイに接続する場合は、外部の回転角度も 180 度に設定する必要があります。

この設定を変更するには、以下の通り設定してください。

- ① 付属の USB マウスを接続し、右クリックで dvPrompter Plus アプリを終了します。
- ② 「Settings（設定）」アプリを 1 回クリックします。

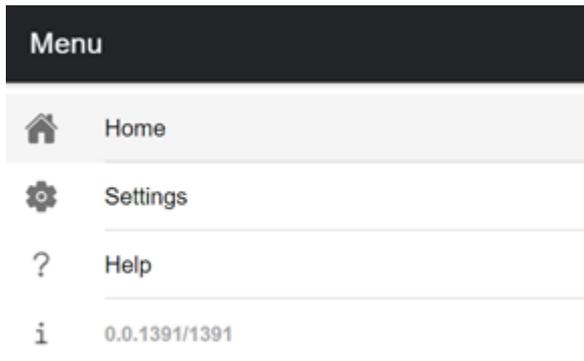


- ③ 「Display（ディスプレイ）」をクリックし、以下の設定を変更します。

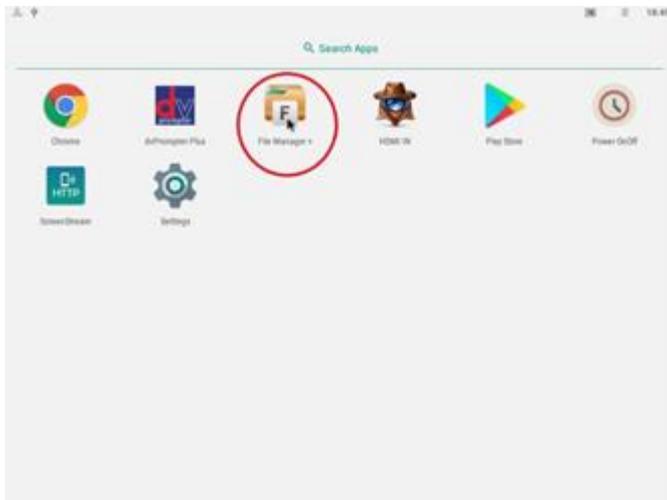


11. アプリのアップデート

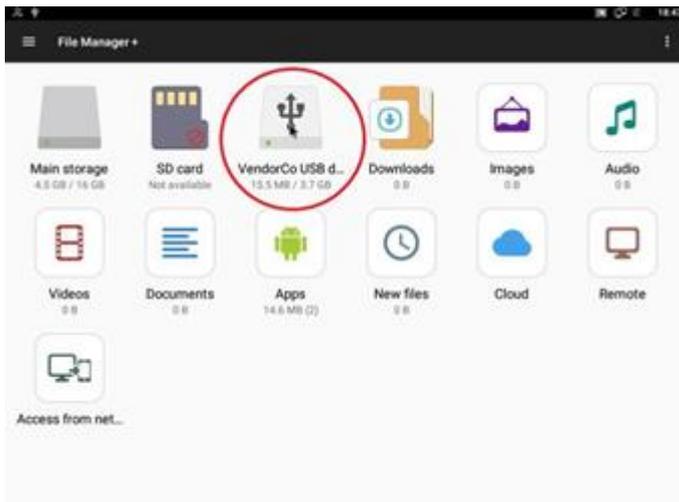
最新の App は、www.datavideo.com/product/TP-700 からダウンロードすることができます。



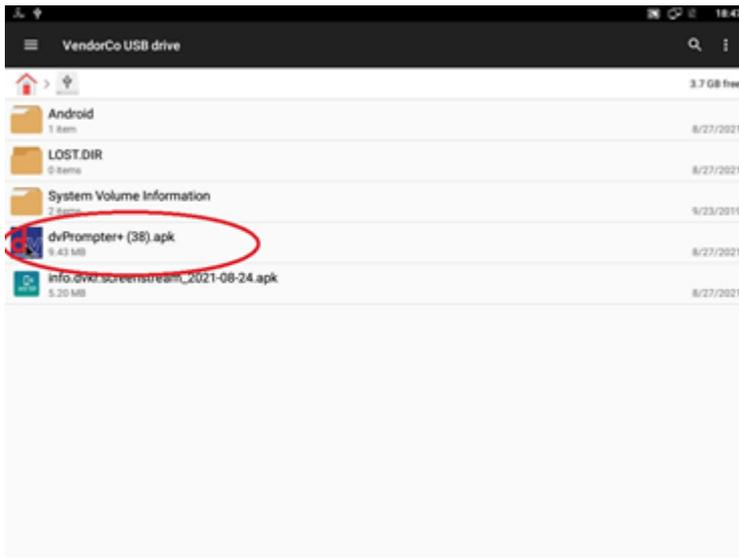
- ① www.datavideo.com/product/TP-700 から最新のアプリをダウンロードします。
- ② ダウンロードした.apk ファイルを USB メモリーのルートディレクトリにコピーします。
- ③ ファイルが入った USB フラッシュドライブを TP-700 の USB ポートに接続します。
- ④ 付属の USB マウスをもう一方の USB ポートに接続します。
- ⑤ 「File Manager+ (ファイルマネージャー+)」アプリをクリックで開きます。



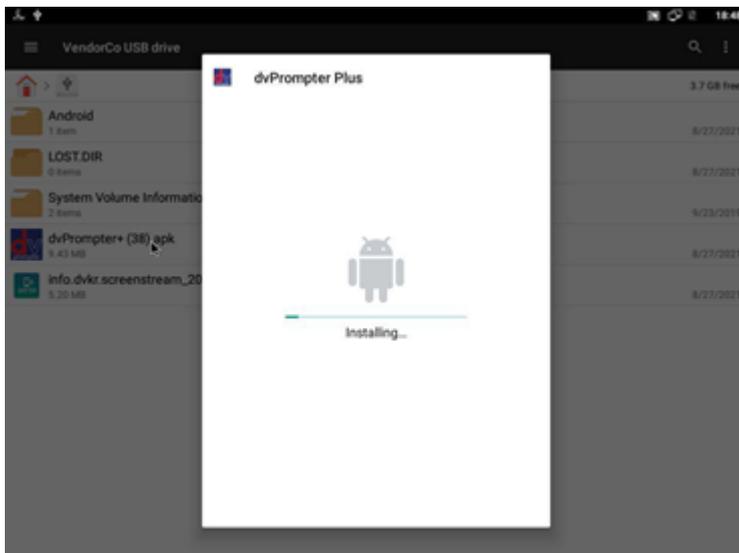
- ⑥ USB フラッシュドライブをクリックし、開きます。



⑦ダウンロードした dvPrompter Plus .apk ファイルをダブルクリックします。



⑧アップデートがインストールされ、完了すると dvprompter アプリが自動的に起動します。



仕様

型番	TP-700
電源	12V2A アダプター
多言語対応	英語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語
LCD ネイティブ 解像度	1024 x 768
LCD 輝度	350 NIT
リモコン (※オプション)	『WR-500』 ハンドヘルドコントローラー
動作温度	0~40℃
寸法 / 質量	【プロンプターサイズ 最大】 430mm (幅) × 345mm (高さ) × 820mm (奥行) 【質量】 正味質量 6.3KG / 総重量 7.8KG 【70/30 ガラス】 240mm(横)×300mm(縦)

※仕様は、予告なしに変わることがあります

サポート窓口

datavideo JAPAN

株式会社 M&Inext datavideo 事業部

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-7-10 関内フレックスビル 210

TEL:045-415-0203 FAX:045-415-0255

MAIL: service@datavideo.jp URL: <http://www.datavideo.jp/>

datavideo は Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等を行うことは著作権法上禁止されております。
日本語訳・制作・著作 株式会社 M&Inext

2022年12月16日改訂